

# 沖縄を語り 沖縄を歌おう

～沖縄の人たちの喜び・悲しみ・怒りにふれながら～

2019年3月30日(土)

午後2時～4時



会場 アピセ関・ホール

〒501-3874 関市平和通 7-5-1

協力券 1,000円



川口真由美さん平和を歌う

(京都在住のシンガーソングライター)

障害者施設代表。3人の子どもを育てるシングルマザーでもある。戦争反対・護憲・反原発・沖縄基地建設反対などの運動に参加しながらメッセージを込めた弾き語りやピアノを使った演奏を行っている。辺野古には月1回ペースでゲート前の座り込みなどに参加。その場においても「歌」や「踊り」で連帯を続けている。肩を寄せ合い、力を寄せ合いながら生きる人々の中で、悩み、葛藤しながら紡いできた詩とメロディー。「戦争の悲しみから生まれたのが憲法9条なら、私は憲法と平和といのちを歌っていきたい。戦争のために子どもを産んだのではない。その一点で母親達は連帯できると思うのです。」と。

沖縄・辺野古基地建設に反対する人々の想いを映すドキュメンタリー映画「レジスタンスなう！ーこの歌は届きますか？」で、アジア国際映画祭新人女優賞受賞。



講演：今井雅巳さん「沖縄と私たち」

2017年から岐阜大学「平和学」講師。＜戦争の被害と加害、そして抵抗＞のテーマで、都市無差別空襲、オキナワ・ヒロシマ・ナガサキの戦争被害と、日本によるアジア諸国、とりわけ中国への戦争加害を中心に講義を展開している。また戦争に反対し、戦争に抵抗した人々の活動を取り上げ、被爆2世として核廃絶運動に取り組み、学生と共に学んでいる。日本平和学会会員。中帰連平和記念館理事。岐朋会（岐阜県被爆者の会）理事。



意見交流

主催 「九条の会・せき」

「戦争法」を許さず平和を求める関市民の会

連絡先

石川凡朗 090-4861-7070

山田 弘 090-7043-7496